学校だより

墨田区立立花吾嬬の森小学校
http://www.sumida.ed.jp/tachiazusho/

平成２７年６月　８日
６月号／第 93 号
12 学級３６１名
墨田区立花１－18－6
電話：3618－4911/2
校長　横山　公一

積み重ねることの大切さ

「おはようございます！」
毎朝校門に立つ２０名ほどの児童が、登校する一人一人に向けて挨拶を投げかけます。
「おはようございます！」と元気にあいさつを返す子供、はにかんだようにうつむきがちに声を出す子供、横一列に並んだ上級生一人一人に愛想よく返事を繰り返す子供など反応はさまざまです。また、時折、通勤途中に通りかかる人との挨拶が成立することもあります。ほんの一瞬、一言のやり取りであっても、そこには自然な人と人との心のふれあいが生じるのが分かります。

幼保小中（幼稚園・保育園・小学校・中学校）で連携したあいさつ運動期間もあり、本校では２日の火曜日から、４年生以上のあいさつひびかせ隊（当番）が毎朝当番で校門に立っています。町自体が目覚め、人通りも増えてき、さあこれから一日がはじまるぞという朝の時間帯に、学校のある一角で響く子供たちの声は実に爽やかで、心地よいものですね。

さて、熱く燃えた運動会を終え日を重ねています。たくさんの応援をありがとうございました。当日は、児童一人一人が立吾小の一員であるという意識をもったり深めたりできたのでしょうか、クラスなり学年なりの団結が高まるとともに、今は子供たちが気持ちを切り替えて落ち着いた学校生活を送る姿が見られます。

運動会に限らず、発表の当日にしっかりできることは大切です。。暑さや疲れなども含めた大小さまざまな壁に立ち向かい磨きに磨いた技や動きを披露できた先にやってくる喜びは、児童にとって最大級のものであり、無二の成長の機会でもありましょう。また、お父さんやお母さん、家族や多くのお客さんの笑顔や歓声そして拍手は、それらを 2 倍にも３倍にもする効力があります。

その一方で忘れてはならないのは、重ねてきた努力の尊さです。これなしには「よい結果」はありえません。学校ではどの担任も担当も、この価値を大切にして指導を重ねてきました。結果はどうあれその過程における地道な努力や、困難を乗り越えようとする強い心、苦しいことにも立ち向かおうといった勇気は純粋に美しく、具体的な場面を通して繰り返し私たち大人が示し教え、勇気づけ、彼らの中に蓄積させてやりたい宝物に似た思いです。いわば人間の中心を貫く黄金の幹を育てる感覚です。

彼らは様々な体験を通して日々成長を続けています。その中で、くじけることなくどんな荒波にも背を向けぬ、しなやかで且つ強靭な心をもった人間になってほしいと願います。そのためのあいさつによる心の積み重ねであり、運動会での努力の積み重ねなのでしょう。

６月予定　　○数字は校時　　（　）数字は学年を示します

月	火	水	木	金	土	日
1	2 教育実習始 （２－１）	3 心の劇場（６）	4	5 眼科検診	6 中学校運動会	7
8 たちあづ班 あいさつ運動 はじめ	9 体力テスト始	10 読み聞かせ	11 遠足（1.2） 粟野説明会 （5）	12 おはなしボブリ （1～4）	13 開校記念日	14
15 避難訓練	16 交通安全教室 （3）	17 体力テスト終	18 プール開き	19	20 道徳授業地区 公開講座②③ 親子ふれあい教室 ①（3）	21 食育イベント 【東吾嬬小】
22 学校公開日 クラブ活動	23 学校公開日 セーフティ教室 ①　（1～3） ②　（4～6）	24	25 プラネタリウム見学（6） 水道キャラバン⑤⑥（4）	26 日光説明会（6）	27	28
29 委員会活動	30	7月1日	2 都学力向上を図る調査（5） 個人面談始	3 個人面談	4 たちあづ班③ 親子ふれあい 予備日	5

道徳授業地区公開講座　学校公開

20（土）の授業は道徳が中心です。３ 校時の時間帯に、道徳や子育てに関する簡単な懇談会を設けます。せひお越し下さい。この日を始めに 23（火）まで公開日です。お子様の学校生活をご覧下さい

運動能力テスト　プール開始

このテストは毎年全国の小中学生が行っているものです。本校は全学年で行い、高学年が低学年の手伝いをします。
また、プールが始まります。準備や健康観察などよろしくお願い致します

家庭学習のススメ

各クラスで、宿題を子供たちに課しています。ご協力をありがとうございます。１回の分量は多くなくとも、月や年という長い目で見ると大きな量になります。ご家庭の協力をいただきながら、学力の向上に努めます。

図書館司書の配置

本校の図書室に、司書の奥山さんが配置されました。月曜日と金曜日に勤務します。図書室の環境いかんで、子供たちの読書量は全く違います。自ら手をのばして本をとる子が増える、そんな環境を目指します。